

議員意向調査「西尾市民病院のあり方について」

※読みやすさ向上のため、明らかな誤字、句読点、改行等について修正を行っております。

No	意見	事務局見解等
1	西尾市民病院の経営形態を検討するに当たっては、病院単独での議論ではなく、西尾市全体の地域医療提供体制の視点が不可欠であると考えます。そのため、市内外の民間病院や大学病院との連携についても積極的に検討すべきです。診療機能の分化や医師派遣、人材育成、共同利用など、それぞれの強みを生かした連携を進めることで、限られた医療資源を有効活用し、持続可能な地域医療体制の構築につながるものと考えます。さらに、経営形態の議論に踏み込むのであれば、将来的には、地方独立行政法人化だけでなく、市内外の民間病院や大学病院との経営連携、指定管理者制度なども含め、あらゆる選択肢を排除することなく検討し、市民にとって最も持続可能な地域医療提供体制を構築することが重要であると考えます。	一つの経営形態に固執せず、市内外の病院・大学病院との機能分化、医師派遣、人材育成及び共同利用を進めることを検討すべきとご意見をいただきました。 各経営形態の効果と課題、移行時期、職員・市民・財政への影響を比較し、地域に必要な医療の維持を最優先に検討してまいります。また、限られた医療資源を有効活用するため、関係医療機関との連携・役割分担を進めてまいります。
2	私が市民病院に最も期待することは「誰の身にも起こりうる万一の際、速やかに質の高い医療を適切に受けることができるか。」である。これが、大前提で、その上で病院の場所の位置や経営形態などを考えていくべきと思う。 そのためには、碧南市民病院との統合により、格段に医師の充実が図られ、両市の市民のためには一番いい方法である、私は今でも思っている。将来とも、持続可能な質の高い医療体制が確実に確保できるから。碧南市民病院との役割分担はできないものだろうか。	持続可能な質の高い医療体制の確保のために、碧南市民病院と統合、役割分担できないかというご意見をいただきました。 近隣自治体や医療機関との連携・統合は相手方の意向や財政状況等にも関わるため、当市単独で方針を決定したり、前提を置いて比較したりすることは困難です。 相手方の状況を尊重しつつ、協議できる機会がある場合には必要な連携を検討してまいります。

No	意見	事務局見解等
3	西三河南部医療圏の市民の命を守ることを第一に考え、今後も2次救急病院として、救急車の受け入れを継続していただきたいと思います。 一刻を争う救急医療においては、119番通報から少しでも早く患者を病院へ搬送することが重要です。そのためにも、地域の救急医療を支える2次救急病院には、引き続き救急患者を受け入れていただきたいと思います。 また、近年、救急出動は年々増加しており、もし救急車の受け入れ先となる病院が遠方になれば、患者の搬送に時間を要するだけでなく、救急車が長時間現場を離れることとなり、その間に別の救急要請が発生した場合、次の出動までに時間がかかることになります。 こうした状況は、結果として市民の命を守ることに大きく関わるため、環境を整えておくことが重要だと思います。	2次救急病院として救急車の受け入れを継続し、搬送時間の長期化や救急車の拘束が次の出動に及ぼす影響を考慮すべきとのご意見をいただきました。 市民の生命を守るため、救急・急性期医療を安定して提供する体制の確保は重要と認識しております。 救急受入実績や不応需理由等を分析し、医師・看護師の確保や近隣医療機関との連携を進め、受入体制の維持・強化に努めてまいります。
4	西尾市民病院は、市民の生命を守る地域の中核病院として存続させ、救急・急性期・災害・感染症医療など、民間だけでは担いにくい機能を重点的に担うべきです。 一方、すべての医療を院内で完結させるのではなく、市内の病院・診療所・介護施設・在宅医療、近隣の高度急性期病院との役割分担を明確にし、治療後の回復期・在宅への移行まで地域全体で支える体制を構築する必要があります。 病床機能や規模は、将来の医療需要、救急受入実績、医師・看護師の確保可能性、診療科別の必要性、収支見通しを踏まえて決定すべきです。また、不採算であっても地域に必要な政策医療については、市の責任と負担範囲を明確にする必要があります。 施設整備は新病院建設ありきとせず、大規模改修や現施設の延命も含め、医療機能、整備費、維持管理費、資金調達、一般会計負担を比較し、市民と議会に示した上で判断すべきです。	地域の中核病院として担うべき医療、周辺医療機関との連携体制の構築、病院施設整備の検討方法についてご意見をいただきました。 公立病院として民間だけでは担いにくい政策医療を確保することは重要であると認識しております。 周辺関係機関との連携につきましては、地域医療確保のために非常に重要となるため、引き続きその強化に努めます。 病院施設整備について具体的な検討を行う場合は、様々なケースを想定して検討を行い、その結果を報告いたします。

No	意見	事務局見解等
5	地域医療の拠点として、将来にわたり必要な医療機能を維持していくことは重要。 そのためには、経営改善だけを目的とするのではなく、市民病院が担うべき医療機能を保持する必要がある。また、同じ医療圏にある碧南市民病院の今後の方向性も注視していく必要がある。	経営改善だけを目的とせず、市民病院が担うべき医療機能の保持をすべきとご意見をいただきました。 碧南市民病院の動向を注視しつつ、公的役割と持続可能な経営を両立させながら、地域医療の維持・充実に取り組んでまいります。
6	地域医療体制を守るために、不採算であっても政策医療を提供するべきであると考えます。	地域医療のためには、不採算でも政策医療を提供するべきとご意見をいただきました。 地域に必要な政策医療を維持することは重要と考えております。 公的役割と持続可能な経営を両立させながら、地域医療の維持・充実に取り組んでまいります。
7	この地域の医療を持続的に維持して行くということが第一命題なので、どの経営形態が今のところ西尾市にとって最適なのか、の判断は検討会の判断に委ねたい。 個人的な話だが、先日家人が緊急外来にお世話になり、身近に24時間、365日駆け込める医療機関があることの有り難さを痛感したばかりです。この安心感は何物にも変え難いものです。	この地域の医療を持続的に確保することが第一命題であり、経営形態の判断は検討会に委ねるとご意見をいただきました。 公的役割と持続可能な経営を両立させながら、地域医療の維持・充実に取り組んでまいります。
8	市民にも緊急以外の夜間救急を控えることや、お医者さんに感謝を伝えるなど、市民も一緒になって支える必要があるのではないかと。	緊急以外の夜間救急を控えるなど、市民も一緒になって病院を支えるべきではないかとのご意見をいただきました。 救急医療の維持には、1人1人の協力が不可欠です。大切な命を守るためにもご協力いただければ幸いです。

No	意見	事務局見解等
9	民間病院が不採算などで対応できない医療に対しても対応していく必要があると考える。	不採算医療の確保が必要であるとのご意見をいただきました。 地域に必要な救急などの不採算になりやすい政策医療を維持することは重要と考えております。 公的役割と持続可能な経営を両立させながら、地域医療の維持・充実に取り組んでまいります。
10	指定管理や民間が関わって運営することになると、採算性が重視されるあまり、本当に必要な医療の提供ができないケースも出てくる可能性がある。全国的にも大多数の病院が赤字ながらも運営している理由を考える必要がある。	民間の病院運営だと採算性重視のため必要な医療が提供されない可能性があるのご意見をいただきました。 地域に必要な救急医療等の公的役割を維持することは重要と認識しております。 経営形態については、必要な医療機能、市民の安心及び持続可能な運営への影響などを比較し、慎重に検討してまいります。
11	西尾市民病院には、地域の中核病院として、救急医療、小児・周産期医療、災害医療など、市民の命と健康を守る役割を将来にわたり果たしていただきたいと考えます。また、医師・看護師など医療従事者が働きやすい環境づくりを進めるとともに、市民が安心して受診できる、持続可能な病院運営を期待します。経営改善と地域医療の充実を両立できる病院を目指していただきたいと思います。	地域の中核病院として市民の命と健康を守る役割を将来にわたり果たすこと、医療従事者の働きやすい環境づくり、経営改善と地域医療の充実の両立という目指すべき病院像についてご意見をいただきました。 公立病院として必要な政策医療を維持することは重要と認識しております。 職員と医療提供体制への影響を丁寧に検証し、地域医療の充実と持続可能な経営を両立できるあり方を慎重に検討してまいります。

No	意見	事務局見解等
12	西尾市民病院は、市民の生命と健康を守るため、今後も存続させることが必要と考える。西尾市に将来必要となる医療機能を明確にし、周辺医療機関との役割分担を進めた上で、経営形態を検討する必要がある。	病院の存続と経営形態検討時に将来的な医療機能の明確化、周辺医療機関との役割分担をすべきとのご意見をいただきました。 公立病院として地域医療の確保は重要であると認識しております。 経営形態の検討にあたっては、将来予測、周辺医療機関の状況、役割分担を考慮し、慎重に検討をしてまいります。
13	西尾市民病院は、単に採算性だけで存続を判断する施設ではなく、救急医療や災害医療など、地域になくてはならない。一方で、公立病院だから赤字はやむを得ないという考え方では、市民の理解を得続けることは難しいと思います。重要なのは、「市民病院だからこそ担うべき医療」と「経営改善できる部分」を明確に分けることで、将来の人口減少や医療需要、医師・看護師の確保、近隣病院との役割分担まで見据え、病床数や診療機能についても検証する必要がある。市民の命を守る最後の砦として必要な機能を維持しながら、持続可能な病院へ転換していくべきです。	救急など地域に必要な医療の砦としての機能を維持しつつ、役割分担や経営改善を徹底し、持続可能な病院へ転換すべきであるのご意見をいただきました。 地域に必要な医療機能を維持しながら、将来にわたり持続可能な病院運営を実現できるあり方について慎重に検討してまいります。
14	地域の医療を市民のために維持できる体制にして、医療サービスを守ってください	地域医療の確保と維持についてご意見をいただきました。 公的役割と持続可能な経営を両立させながら、地域医療の維持・充実に取り組んでまいります。
15	病院の経営形態は、地域医療の将来に大きな影響を及ぼす重要な事項であることから、その決定に当たっては、市民に対する十分な説明責任を果たすことが重要である。そのため、あり方検討委員会における議論や検討の過程を市民に分かりやすく「見える化」するとともに、市民が納得できる方向性を示してほしい。	経営形態の決定にあたっては、議論検討過程の「見える化」納得できる方向性の提示が必要であるのご意見をいただきました。 会議は公開にて開催しており、検討経過や判断理由をできる限り分かりやすくお示しすることで、市民の皆様の理解を得られるよう努めてまいります。

No	意見	事務局見解等
16	市民病院は、地域医療の中核として、市民が安心して必要な医療を受けられる体制を将来にわたり維持していくことが重要である。当面は公立病院としての役割を果たしながら、持続可能な病院運営に努めるべきだと考える。一方、将来的には施設の老朽化や建て替えの時期など、市民病院のあり方を大きく見直す段階において、病院の規模や機能、経営形態も含めて改めて検討すべきだと考える。	当面は公立病院の役割を果たしながら持続可能な病院運営に努め、施設建替えなどの機会に改めて検討を行うべきとご意見をいただきました。 地域医療を確保、持続していくことは非常に重要であると認識しております。 病院規模、機能、経営形態の変更等については慎重に検討を進め、建て替えや周辺の医療事情の大きな変化などがあれば、折を見て検討を行う必要があると考えております。
17	経営（お金）のことばかり議論になりがちであるが、私は病院は赤字で当たり前だという意識を持っている。なぜなら病院はお金には変えられない、市民の命を守る最後のセーフティーネットだから。もちろん赤字を減らす努力は必要ではあるが、そのことで病院事業が何らかのリスクを負うことは避けるべきだと考える。議員が机上で作上げたアイデアを議会で討議する前に、今まで病院を支えてきた現場職員の声をもっと聞いて、10年後、20年後の新しい病院を作っていくことが大切。	病院は命を守るセーフティーネットであり赤字もやむを得ないが、経営努力は必要である。現場の声を聞き、未来を見据えた病院づくりが大切とご意見をいただきました。 現場の職員の声を聞き、公的役割と持続可能な経営を両立させながら、地域医療の維持・充実に取り組んでまいります。
18	病院DXをもっと進めるべきだと思う。病院でなぜこんなにたくさんの受付をしないと診療まで行けないのか、という意見が第一回のあり方検討委員会に出ていたが、私も同感だった。 病院のプロは現状たくさんいると思うけれど、DX、オペレーションまで最適化することができるのかは疑問に思える。できる方もいると思うけれど、私には判断がつかない。いなければ専門家の活用も試みるべき。内部からすればうるさいことで嫌がられることは明白でも、外部の目線に晒し、人員配置や流れを改善できる余地はあるように思えた。	病院のDXや業務最適化を進め、外部の専門家も活用しながら人員配置や手続きの流れを見直すべきとご意見をいただきました。 患者さんの利便性と職員の働きやすさの双方を高められるよう、業務手順の見直しやデジタル技術の活用について検討を進めてまいります。

No	意見	事務局見解等
19	総合診療内科があると早期の診断が効率的になるのでは？	総合診療内科があると早期診断が効率化されるのではというご意見をいただきました。 総合診療内科は高齢化が進み、複数の疾患を抱える患者の増加に対して有効であると認識しております。 その導入については、医師の確保、周辺医療機関との役割分担なども勘案しながら検討してまいります。
20	経営形態を変更すればうまくいくという拙速な考え方を排すべき。あま市などが指定管理者の好事例として挙げられるが、逆にうまくいかなかった事例などを示してもらいたい。	経営形態を変更すればうまくいくという考えは拙速であるのご意見をいただきました。 うまくいかなかった事例としては、指定管理者が契約期間を残して撤退・休業した三春町立三春病院の事例などが挙げられます。
21	診療後の精算に要する時間短縮をして下さい。	診療後の清算までの時間の短縮に関するご意見をいただきました。 精算までの時間に関しましては、診療内容の記録、精算金額の算出等に要した時間となっております。 利便性向上のため、効率化できる部分がないか検討いたします。

No	意見	事務局見解等
22	病院が減っていく中で、皆さんの頑張りで成果が上がって来ているので、医師が確保出来ればAIや、ロボットを活用し、設備、整備も少しずつ、増していく。建物を1つにまとめるのではなく、老朽化の概念から、建物を複数に分けるなど建物を足していくのも良いと思う。	医師確保、AI・ロボット活用、段階的な設備整備や分散型の施設更新についてご意見をいただきました。 人材確保と業務効率化を進めるとともに、施設整備は安全性、機能性、整備費、維持管理費及び将来需要を踏まえて比較検討してまいります。
23	私は以前から西尾市近隣(50km以内)には多くの有力な病院が存在しており、毎年、市の一般会計予算から約20億円の繰り出しをしているのであれば、西尾市民病院そのものを廃院としても良いのではないかという考え方をしていました。しかし、数年前の市民世論調査において、80%の市民の方からの『どんなに赤字であっても西尾市民病院は存続してほしい』という結果を見てから、市民のご意向がそうであれば、存続すべきという考えになりました。よって、西尾市民、あるいは近隣の住民の皆さんのために、責任と自信を持って市民病院存続に向けて進めていただきたいと思います。	市民の意向に沿うように病院は存続すべきだのご意見をいただきました。 公的役割と持続可能な経営を両立させながら、地域医療の維持・充実に取り組んでまいります。

議員意向調査「西尾市民病院の経営改善案について」

※読みやすさ向上のため、明らかな誤字、句読点、改行等について修正を行っております。

No	意見	事務局見解等
1	私は、なにはさておき、医師の確保が最も大事と思う。質の高い医療が提供でき、患者に選ばれ、自ずと経営改善に繋がっていくという、好循環が生まれる。引き続き、医師確保に努力を。	経営改善には医師確保が最重要とご意見をいただきました。 医療人材の確保は最重要課題であると認識しております。 引き続き医師・看護師の確保に努めます。
2	経営改善は、経営形態の変更だけで実現するものではなく、権限と責任、数値目標、検証体制を一体で整える必要があります。救急受入件数、手術件数、病床回転率、紹介率・逆紹介率、診療科別収支等を定期的に検証・公表し、医師・看護師の確保見通しと収益性を踏まえて医療機能を重点化します。 併せて、医薬品・診療材料・委託業務・設備保守等の契約を見直し、一般会計負担を政策医療分と経営赤字補填分に区分すべきです。 さらに、経営形態を決定する前に個別外部監査を実施するとともに、公認会計士と病院経営の専門家による財務・経営デューデリジェンスを行い、財務体質、キャッシュフロー、資金繰り、設備更新、企業債償還、新病院建設を含む10年以上の収支見通しを複数シナリオで客観的に検証し、その結果を市民と議会に公表すべきです。	経営改善に向けては体制整備、地域医療の状況、人材確保の見通しやコスト削減等の総合的な検討が必要、経営形態決定前には市民・議会への説明が必要とご意見をいただきました。 経営形態の変更はあくまで手段であり、それだけで経営改善するとは考えておりません。 経営改善に向けた努力を続け、随時情報公開、議会への報告を行ってまいります。
3	経営改善に当たっては、経費削減に努めるとともに、医師・看護師等の医療人材を確保し、患者の受入れを強化することが重要と考える。また、今後の碧南市民病院の動向や地域医療の状況を見極めながら、将来的には病院の移転・建替えについても、一つの選択肢として検討する必要があると考える。	経営改善には経費削減、医療人材確保、患者受け入れ強化が必要、病院の移転・建替えも1つの選択肢であるにご意見をいただきました。 現在の経営改善の取り組みについて、さらに強化してまいります。 病院の移転・建替えにつきましては、来るべき日に備え検討を続けてまいります。

No	意見	事務局見解等
4	選ばれる病院になるために、美容外科等の自由診療を拡充して採算性を確保してみてもどうかと考えます。	美容外科等の自由診療を拡充してはどうかとご意見をいただきました。 医師の確保や設備面、公立病院としての役割上、美容外科の導入は難しいと考えますが、自由診療について拡充ができるか検討をしてみたいです。
5	西三河南部の医療圏を堅持する、という観点から現在の碧南市民病院の状況下も考慮に入れ、例えば西尾が緊急とがん治療に、そして碧南が回復期とリハビリをそれぞれ役割分担できれば、広域医療圏としての機能も果たせると思う。 なぜがん治療か、という問いに対しては、先日のNHK番組「知的探求フロンティア タモリ・山中伸弥の!？」を拝見して、西尾市出身のドクターが先進的な研究に取り組んでいらっしゃることを知りました。他にもそのような方がいらっしゃると推察し、その方々が心置きなく研究に打ち込め、がん治療のトップ医療機関としてきくことも可能ではないかと思ったからです。もしかすると、大村知事ならその可能性にGOサインを出してくださるかもと妄想しております。それが経営改善に繋がるかは確信ありませんが。	西尾が急性期とがん治療を、碧南が回復期とリハビリをそれぞれ役割分担してはどうかとご意見をいただきました。 碧南市民病院については、当市単独で判断できることではございませんが、近隣医療機関と役割分担しながら、地域医療の確保に向けて取り組んでまいります。
6	健康診断や人間ドックなど、年間で固定集客が可能なサービスの導入をすることで、一定の収益確保につながるのではないかと考える。	収益確保のため、健康診断や人間ドックを導入してはどうかとご意見をいただきました。 本年度、膀胱がんの早期発見のためPSA検査を行いました。人間ドックのような予防医療は重要であると認識しております。 当院での実施が可能であるか検討をしてみたいです。

No	意見	事務局見解等
7	市内にない診療科、例えば不妊専門外来とかつくるのもいいのではないか。	不妊専門外来等の市内にない診療科をつくるのもいいのではないかとご意見をいただきました。 不妊専門外来等の市内にない診療科の設置につきましては、医師確保の状況、地域からの需要などを勘案し、今後も引き続き検討してまいります。
8	他市ではまだ力を入れていない分野に目を向け、新たなサービスで近隣からの患者を呼び込める病院になるよう知恵を絞っていただきたいです。高気圧酸素や統合医療、自由診療の分野、子宮頸がん検査の郵送キットなどが個人的には取り組んでいただきたい内容です。そのために医師の確保に今まで以上に力を入れて励んで欲しいです。 いつもありがとうございます。	他市がまだ力を入れていない分野の新たなサービスの導入、医師の確保についてご意見をいただきました。 新たな分野への挑戦について何が可能か検討するとともに、引き続き医師確保に向けて努力を続けてまいります。
9	地域医療を支える公立病院として重要な役割を担っていますが、毎年赤字が続いている現状については改善が必要です。収益の確保や業務の効率化、医療人材の確保・定着、他の医療機関との連携強化などを進め、地域医療の質を維持しながら持続可能な経営を実現していただきたいと思います。	地域医療の質を維持しながら、持続可能な経営を実現してほしいとご意見をいただきました。 現在行っている経営改善の取り組みを強化し、地域医療の確保と持続可能な経営に努めてまいります。
10	経営改善については、市民にわかりやすく説明する必要がある。経営形態を移行した場合、現状維持した場合、それぞれの収支、医師数、救急受入件数など、様々な分析を行った将来像を、議会と市民に示すことが重要。	経営形態の移行にあたっては、分析した将来像を議会と市民に示すことが重要だとご意見をいただきました。 あり方検討委員会において、現状適していると考えられる経営形態が示されます。 その経営形態について現状との比較検討を行い、説明をしてまいりたいと考えております。

No	意見	事務局見解等
11	少しずつではあるが、将来の展望が明るいものであると確信しております。 医師、看護師、職員も頑張っていてくださるのは伝わっていますので、引き続きよろしくお願ひします。私から改善案の意見は特にありません。	病院の将来展望の明るさと病院職員の頑張りについてご意見をいただきました。 現在行っている経営改善の取り組みを強化し、地域医療の確保と持続可能な経営に努めてまいります。
12	新病院が建設となる場合には改めて、検討してください	新病院建築時に改めてあり方を検討するようご意見をいただきました。 病院のあり方については、周辺医療環境の大きな変化や新病院建築時など大きな変化が見込まれる場合に随時行ってまいります。
13	経営改善を図る上で医師の確保を最優先とするのであれば、これまでの取組を踏まえつつ、医師確保が進まない要因や課題を改めて検証し、従来とは異なる新たな手法を積極的に取り入れていく必要がある。例えば、総合的な収支を判断した医師給与の引き上げや、生成AI等の先進技術を活用した業務の効率化を進めるなど、医師に選ばれる病院づくりに向けた新たな取組を積極的に進めていただきたい。	医師の確保のため、医師給与の引き上げ、生成AI等を利用した業務効率化など医師に選ばれる病院づくりを進めるべきにご意見をいただきました。 医師の確保に向けて、さらにできることがないかを模索し、その改善に向けて努力いたします。
14	すでにお考えかもしれませんが、病床稼働率や病床回転率を上げる。現状の強みであるところを更に伸ばしていくような施策が取れると良いと思います。	病床稼働率や病床回転率を上げ、現状の強みを伸ばす施策を取るとよいにご意見をいただきました。 病床稼働率、病床回転率の上昇について、現在行っている取り組みを強化し、地域医療の確保と持続可能な経営に努めてまいります。

No	意見	事務局見解等
15	医師・看護師などの医療人材の確保・定着を最優先とし、病床利用率の向上や地域医療機関との連携強化、診療報酬の適正な算定、DXによる業務効率化など、収入の確保と経費の適正化の両面から経営改善を進めるべきだと考える。	医療人材の確保・定着を最優先しに、収入の確保と経費節減の両面から経営改善を進めるべきとご意見をいただきました。 医療人材の確保・定着のための体制づくりに努めてまいります。 現在行っている経営改善の取り組みを強化し、地域医療の確保と持続可能な経営に努めてまいります。
16	特にありません。現場皆さん、いつもありがとうございます。	現場職員への感謝の言葉をいただきました。 これからも地域医療の確保と持続可能な経営に努めてまいります。
17	AIの活用。病院に限った話ではないが、AIに代替できる仕事をなるべく早く見つけて切り替えていくことで、貴重な人材をより重要な仕事に向かわせて、生産性を高めていくことに力を割くことが大事と思う。	AIを有効活用し、人材を重要な仕事に向けることで生産性を高めることが大事だとご意見をいただきました。 AIを含めたDX化については、今後の病院経営に欠かせないものであると認識しております。 世に様々なツールの中から、何が当院にとって有用なのか検討をしてみたいです。
18	医局との信頼関係に大変ご苦労なさっているかと思いますが、更なる関係強固し信頼のおける医師と共に今後の改善に期待します	医局との関係強化についてご意見をいただきました。 不足する診療科の医師確保は経営に直結する重要事項であると認識しております。 今後も大学医局との関係性を維持し、医師確保に努めてまいります。

No	意見	事務局見解等
19	ホスピタリティの面での苦言を市民からは度々聞く。満足度調査では良い結果が出ているのかもしれないが、いま一度見直してもらいたい。 また、市の南側に住む市民からすると、やはり遠い。建て替えるのであれば立地の検証も必要なのではないか。	ホスピタリティの見直し、病院建替え時の立地検証の必要性についてご意見をいただきました。 患者さんの対応を含むホスピタリティについては、引き続き心に留め、改善点がないか確認してまいります。 建替え場所につきましては、具体的な計画時には検討が必要であると認識しております。
20	薬剤の院内処方を増やすことはできませんか？	薬剤の院内処方を増やすことができないかのご意見をいただきました。 厚生労働省が医薬分業の方針を示しておりますので、院内処方を増やすことは考えておりません。
21	市が病院を持っている事で地方交付税に算定に反映される仕組みがあるし、決算書の減価償却費を見ても、あと少し病床数や入院を増やす事が出来れば良いと思う。(ネーミングライツとかも活用する)経費をかけずに収益になる事をする。	病院があることによる地方交付税の算定反映を鑑み、少しの入院増加とネーミングライツなどの経費をかけない収益についてご意見をいただきました。 交付税のことはございますが、現在行っている経営改善の取り組みを強化し、地域医療の確保と持続可能な経営に努めてまいります。 経費の掛からない収益がないか研究してまいります。

No	意見	事務局見解等
22	私は、数年前に行われた国による医学部研修医制度の見直しから、特に地方の自治体病院の経営が損われてしまったと考えています。なぜならば、この見直しによって、自治体病院における医師不足が常態化し、ほとんどすべての自治体病院が赤字経営に陥っているからです。いわば、国家が国民(市民)の生命を地方自治体に任せて責任放棄しているのです。 しかし、『断らない病院のリアル』というドキュメンタリー番組を視聴したところ、その病院では、医師及びコメディカルが多忙を極めているにもかかわらず、大きな赤字で悩んでいるという実情が説明されていました。この病院長の説明から判断すれば、病院改革にも限度があり、厚労省による診療点数の低さに問題があると考えています。 よって国に対して、医学部研修医制度の改正および診療点数の適正化を求めるべきと考えます。また、赤字分を基準財政需要額に算入できるように働きかけるべきだと思います。	病院の医師不足・赤字については、国の施策によるものであり、国に対して対策を求めるべきとのご意見をいただきました。 昨年度、政府、政党に向けて提出された「危機的状況にある自治体病院の存続に向けた緊急要望」に西尾市も名を連ねております。 国に向けての要望も検討しながら、現在行っている経営改善の取り組みを強化し、地域医療の確保と持続可能な経営に努めてまいります。